

<実効税率の変更に伴い、土地再評価差額金の取崩しを行った場合の入力例>

# 【質問】

実効税率の変更に伴い、土地再評価に係る繰延税金負債の金額に異動が生じたため、土地再評価差額金の調整が必要となりました。

その場合、当期末の別表調整はどのように行えば良いですか？

(当期の会計処理)

当期末の法定実効税率が 30%から 35%に改正されたため下記の仕訳を計上しました。

(借) 土地再評価差額金 500 (貸) 繰延税金負債 500

(過年度の会計処理)

土地再評価前の簿価は 10,000 だったが、再評価後の簿価は 20,000 となり、その当時の実効税率は 30%だったため、下記の仕訳を計上しています。

(借) 土地 10,000 (貸) 土地再評価差額金 10,000

(借) 土地再評価差額金 3,000 (貸) 繰延税金負債 3,000

※下記の画面で期首残高が引き継がれています。

## ■「332-1.法人税ワーキングシートの入力①」WS

[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎 (必須)] > [留保 3]タブ

当期利益	利益準備金等	留保1	留保2	留保3	流出・加算	流出・減算	税効果1	税効果2	評価差額	繰延ヘッジ損益
6. 消費税等に係る特殊な別表調整が必要な場合に入力してください。										
行	別表四・五 (一) の摘要		期首利益積立金 (メニュー331-1で入力・修正)	調整 区分	加 算 増	減 算 減	差引翌期首 利益積立金額			
1	四									
	五(一)	土地	-10,000				-10,000			
2	四									
	五(一)	土地再評価差額金	7,000				7,000			

[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎 (必須)] > [税効果 2]タブ

当期利益	利益準備金等	留保1	留保2	留保3	流出・加算	流出・減算	税効果1	税効果2	評価差額	繰延ヘッジ損益
10. 別表四に加算(減算)する「法人税等調整額」の別表五 (一) への内訳記載内容を入力してください。										
法人税等調整額(C)		加減区分 金額		加算						
						0				
内 訳	別表五 (一) の摘要	期 首 現 在 利益積立金額① (メニュー331-1で入力・修正)	適格合併等引継(増③) (「別表5(1)適格合併等の利益 積立金等引継」WSで入力・修正)	当 期 の 増 減		差引翌期首現在 利益積立金額④				
				増③	減②					
	繰延税金資産									
	繰延税金負債	3,000				3,000				
	小計	3,000				3,000				
計(D)										
差異確認(C-D)						0				

## 【回答】

当期に計上した「土地再評価差額金 500」は[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎（必須）] > [留保 3]タブの「五（一）」の「減」に、「繰延税金負債 500」は[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎（必須）] > [税効果 2]タブの「増③」に登録します。

### ■「332-1.法人税ワーキングシートの入力①」

[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎（必須）] > [留保 3]タブ

当期利益	利益準備金等	留保1	留保2	留保3	流出・加算	流出・減算	税効果1	税効果2	評価差額	繰延税金負債	繰延税金資産
6. 消費税等に係る特殊な別表調理が必要な場合に入力してください。											
行	別表四・五（一）の摘要		期首利益積立金 (メニュー331-1で入力・修正)	調整 区分	加 算 増	減 算 減	差引翌期首 利益積立金額				
1	四										
	五（一）	土地	-10,000				-10,000				
2	四										
	五（一）	土地再評価差額金	7,000			500	6,500				

※「留保 3」タブで「四」に同額を登録していないため、下記のメッセージが表示されますが、そのまま「入力終了」ボタンをクリックして進んでください。

「留保3」タブの入力確認

別表四の加減算の合計額 ①	別表五（一）の増減の合計額 ②	差額(①－②)
0	-500	500

「別表四の加減算の合計額」と「別表五（一）の増減の合計額」が一致していません。  
入力漏れや入力した金額に誤りがないか確認してください。

再入力

[別表 4・5(1)：所得金額の計算基礎（必須）] > [税効果 2]タブ

当期利益	利益準備金等	留保1	留保2	留保3	流出・加算	流出・減算	税効果1	税効果2	評価差額	繰延税金負債	繰延税金資産
10. 別表四に加算(減算)する「法人税等調整額」の別表五（一）への内訳記載内容を入力してください。											
法人税等調整額(C)		加減区分		加算							
		金額				0					
内 訳	別表五（一）の摘要	期 首 現 在 利益積立金額① (メニュー331-1で入力・修正)	適格合併等引継(増③) (「別表5(1)適格合併等の利益 積立金等引継」WSで入力・修正)	当 期 の 増 減				差引翌期首現在 利益積立金額④			
				増③	減②						
	繰延税金資産										
	繰延税金負債	3,000		500				3,500			
	小計	3,000		500				3,500			
	計(D)					500					
	差異確認(C-D)					-500					

※法人税等調整額と不一致のため、下記のメッセージが表示されますが、そのまま「キャンセル」ボタンをクリックして進んでください。

エキスパートチェック

別表 4 に加算 (減算) する「法人税等調整額(C)」が、  
「計(D)」の額と一致していません。  
「法人税等調整額(C)」の内訳入力を行いますか？

申告書は下記の表示となります。

■別表 4

影響しません。

■別表 5（1）

I 利益積立金額の計算に関する明細書							令七・四・一以後終了事業年
区 分		期首現在利益積立金額 ①	当 期 の 増 減		差引翌期首現在利益積立金額 ①－②＋③ ④		
			減 ②	増 ③			
利 益 繰 入 金	1						
繰 入 金 積 立 金	2						
繰 延 税 金 負 債	3	3,000		500		3,500	
土 地	4	△ 10,000			△	10,000	
土地再評価差額金	5	7,000	500			6,500	

上記の登録により、検算差額は発生しません。

■別表 4 と別表 5（1）の確認表

●別表四と別表五(一)の確認表

期首現在利益積立金額 合計(別表五(一)④の①) ①	別表四 留保所得 金額又は欠損金額 (別表四④の②) ②	中間分、確定分法人税 県民税市民税の合計額 ③	差 引 金 額 (①＋②－③)	差引金額と差引翌期首現在 利益積立金額合計(別表五 (一)④の④)との差額(注)	※(注)
0	0	0	0	0	

(注) 当入力例は、処理の一例です。実際に入力する際は、顧問税理士等にご相談の  
う え、各企業の処理方法に基づいて入力してください